

# 日本教育美術連盟第 67 回夏期研究会



2024 年度 研究会テーマ

## うん、こどもって自由やで

～こどもを信じる図工・美術の時間～

■日  
■会

時  
場

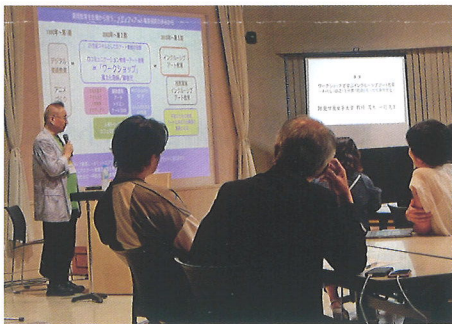
令和 6 年 8 月 8 日 (木)・9 日 (金)

DawnCenter (ドーンセンター 大阪府立男女共同参画・青少年センター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 TEL 06-6910-8500

### 研究テーマ設定にあたって

日本教育美術連盟 夏期研究会実行委員長 佐藤 賢司  
(大阪教育大学教授)



自戒と反省を込めて言えば、私たち大人は「教育」を「こどもの話」として語りがちです。「どうすれば目指すこども像に近づけるか」「どうすればその力が身に付くか」「どうすれば、どうすれば、どうすれば…」と。それはもちろん大事なことではあるのかもしれませんが、「教育を学ぶ」ことは、その「方法論を会得する」ことではありません。

私たちはみな＝大人も子どもも、日々何かを経験し、知り、そして眠り、目覚め、新たな「生」を生き直しています。学びはそこにあります。教育を考えること・美術教育を考えることは、突き詰めれば、私たち自身が「どう生きるか」を問うことにほかならないのです。「学び続ける」とは、本来このような営みであるべきでしょう。

さて、昨年のテーマ設定の理由に次のような文があります。「こどもたち一人一人がかけがえのないその子自身であること…これは私たちが最も大切にしていることであり、それがここでいう多様性の基本です。また、美術教育における自由は、ともすると「制限」の対極におかれ、無制限と混同されますが、そうではありません。自由とは、本来「自らに由る」、つまり自分で何事かを決定することができる、ということです。こどもたちの自己決定権が授業の中で最も重要な学びの核となる…、図工・美術という教科の大きな特性がここにあります。」この思いは、今年のテーマである「～こどもを信じる図工・美術の時間～」につながっています。

今年は元文部省教科調査官・視学官、元上越教育大学、兵庫教育大学連合大学院教授の西野範夫先生にご講演をいただくという、大変貴重な機会を得ることができました。世界が混沌とし、人間の命の重さが改めて問われている今、改めて「私たちにとっての自由とは」そして、「こども一人一人の<自分であること>が尊重される美術教育とは」について、参会者の皆様とともに考えていきたいと思えます。

実行委員一同、皆様のご参加をお待ちしています。



■主 催 日本教育美術連盟 夏期研究会実行委員会

■後 援

大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、  
京都府教育委員会、京都市教育委員会、兵庫県教育委員会、  
神戸市教育委員会、滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会、  
和歌山県教育委員会、公益財団法人教育美術振興会(申請中)

■定 員 120 名(定員になり次第締め切り)

■会 費 5,000 円(資料代を含む)

■お問い合わせ先

日本教育美術連盟事務局 夏期研究会 担当宛

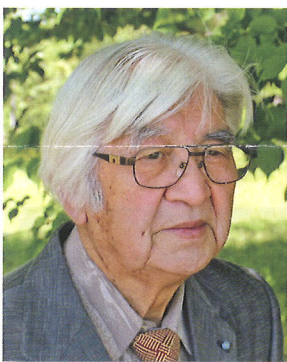
電話 06-6910-8807 FAX 06-6910-8831

■日 程

第1日 8月8日(木曜日) 受付 9:30～ 1Fパフォーマンススペース前

10:00	開会の言葉 基調提案	会場：1Fパフォーマンススペース 佐藤 賢司(夏期研究会実行委員長 大阪教育大学) ピオルコフスキー潤(枚方市立東香里小学校)
10:30	ワークショップA:「線と遊ぶ」 どんどんつながる線、さまざまに広がる線。紙とペン、わたしとみんなと線で遊んでみませんか?	中島 嵩・田窪 真樹・新井竜太郎・小林 絢子 坂口 智章・服部 唯・宮地さおり
12:00	—【昼食】— 会場内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください。会場周辺にておとりください。	
13:00	研究発表Ⅰ:「遊び的な学び」をきっかけに新しい自分をつくる図工教育	会場：1Fパフォーマンススペース 杉山 聡(新宿区立落合第六小学校)
13:50	研究発表Ⅱ:遊びからまなぶ。自分を知る、他者にきづく。これからの美術の時間	花里 裕子(中野区立第五中学校)
14:40	講演:演題『子どもひとりひとり』	西野 範夫
16:40	第1日目 終了	
17:30	懇親会	

講演者



西野 範夫 氏

略歴

福井県に生まれる。

多摩美術大学卒業。東京都公立小学校教諭、皇學館大学、金沢大学助教授を経て、1986年より文部省教科調査官・視学官。1995年より上越教育大学教授(学習臨床講座)、附属小学校長、兵庫教育大学連合大学院教授(併任)。

昭和52年度、平成元年度、平成10年度の文部省教育課程(学習指導要領)の改訂に携わる。昭和52年度の改訂における「造形遊び」の教育課程への位置付けに寄与するとともに、『新しい学力観に立つ教育課程の創造と展開—小学校教育課程』(文部省/平成5年)の作成など、児童・生徒の学びの論理による教育課程の礎の構築に寄与した。

著書には、『小学校・新しい教育観に立つ授業と評価の手引き』(明治図書)、「新しい学力観に立つ授業のポイント」(東洋館出版)、『'89告示 小学校学習指導要領 図画工作の解説と実践』(小学館)。その他、文部省『初等教育資料』における論説「子供のよさを生かす共感と支援の教育」、「子供の魅力と世界を生かす教育」、「子供のよさを生かす学習指導と評価」、「これからの教育と子供がつくる学習活動」などがある。また、『美育文化』における43回にわたる、子どもの論理による学びにかかわる「子どもがつくる学校と教育」の連載があるとともに、科学研究費助成研究として、『つくること表すことによる「生きる力」としての学びの基礎理論の構築と教育の体系化』等があり、常に、子どもの論理による学びの事実コミットする学習臨床学の在り方を追究している。現在、(公財)美育文化協会理事。

■日 程

第2日 8月9日(金曜日) 10:00 迄に各会場直接入室	
10:00	ワークショップ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ワークショップB グループI 会場：大会議室3 「いつもとちがう」を 考える⇄表す 色々な視点で「いつもと同じ感じ」を捉えるとどうでしょう。今まで感じていた「当たり前」が変わるかもしれません。その先には、表したい表し方が変わっているかもしれません。「いつもとちがう」を一緒に考えて表す楽しみを感じませんか？ 遠藤夕紀子・伊藤 慶孝・漆原 良美・狩谷 潤也 辻 沙織・東江 諭・中野 貴之・似内 達吉 服部 真也</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ワークショップC グループII 会場：大会議室1 Pを超える！ 子どもたちの表現は、いつも私たち大人の想像をはるかに超えてきます。この「超える」というキーワードは、チャレンジングでワクワクするものなのかもしれません。私たちの内にある「こども」と一緒に活動し、美の巨匠たちを超えてみませんか？ 伊藤 志穂・城野 知佐・那賀 典仁 ピオルコフスキー潤・森岡 輝次・吉本 侑司</p> </div> </div>
10:45	休憩・移動
11:00	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ワークショップC グループI 会場：大会議室1 Pを超える！ 子どもたちの表現は、いつも私たち大人の想像をはるかに超えてきます。この「超える」というキーワードは、チャレンジングでワクワクするものなのかもしれません。私たちの内にある「こども」と一緒に活動し、美の巨匠たちを超えてみませんか？ 伊藤 志穂・城野 知佐・那賀 典仁 ピオルコフスキー潤・森岡 輝次・吉本 侑司</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ワークショップB グループII 会場：大会議室3 「いつもとちがう」を 考える⇄表す 色々な視点で「いつもと同じ感じ」を捉えるとどうでしょう。今まで感じていた「当たり前」が変わるかもしれません。その先には、表したい表し方が変わっているかもしれません。「いつもとちがう」を一緒に考えて表す楽しみを感じませんか？ 遠藤夕紀子・伊藤 慶孝・漆原 良美・狩谷 潤也 辻 沙織・東江 諭・中野 貴之・似内 達吉 服部 真也</p> </div> </div>
11:45	—【昼 食】— 会場内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください。会場周辺にておとりください。
13:00	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>小学校部会 会場：大会議室1 研究発表 III かきくけこども ～感じて、<sup>②</sup>気づいて、<sup>③</sup>工夫して、<sup>④</sup>ふうして、 <sup>①</sup>原動力にすることも～ 上原 令子(甲賀市立貴生川小学校)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>中学校部会 会場：大会議室3 研究発表 V 国際バカロレア DP Visual arts から考える探求的な学び ～学びにおける自由度に注目して～ 藤田 勝如(大阪府立水都国際高等学校)</p> </div> </div>
13:45	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>研究発表 IV 子どもが先生を超えるとき 大塚 智大(宇都宮大学共同教育学部附属小学校)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>研究発表 VI 信じる・待つ ～自ら育て合う共同体～ 宮地 さおり(高槻市立第一中学校)</p> </div> </div>
14:40	全体交流 会場：大会議室1
15:30	閉会行事 閉会挨拶
16:00	閉 会

お申し込み方法

参加申込書に必要事項記入の上、郵送またはFAX、もしくはメールにてお申し込みください。受付案内をご送付いたします。尚、個人情報につきましては本研究会以外は使用いたしません。研究会会費5,000円は当日会場受付にてお支払いください。

日本教育美術連盟事務局 夏期研究会 担当宛

FAX: 06-6910-8831 メール・アドレス: ishizawa@craypas.co.jp 郵送先: 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1丁目6-20

キ リ ト リ 線

日本教育美術連盟第67回夏期研究会 参加申込書

ふりがな	
お名前	
ご所属	
自宅住所	〒 -
自宅TEL・FAX	TEL FAX
E-mail	

懇親会(8月8日17:30～)お申し込みついて

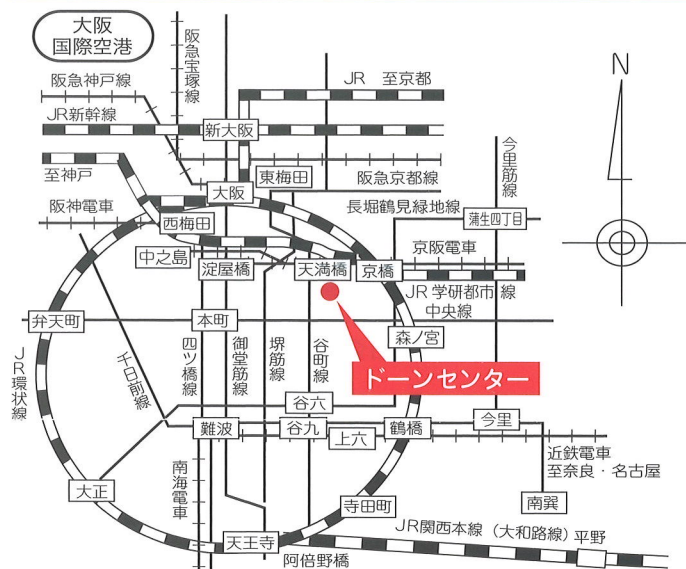
参加希望の方は参加費5,000円を当日受付にてお支払いください。

懇親会 参加費5,000円	希望する	希望しない
---------------	------	-------

## 実行委員

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 佐藤 賢司 (大阪教育大学)       | 辻 沙織 (常翔学園中学校高等学校)     |
| 河野 敬重 (泉南市立東小学校)     | 東江 諭 (堺市立東陶器小学校)       |
| 新井竜太郎 (大阪市立中央小学校)    | 那賀 典仁 (堺市立福泉上小学校)      |
| 伊藤 志穂 (奈良女子大学附属小学校)  | 中島 嵩 (羽曳野市立河原城中学校)     |
| 伊藤 慶孝 (堺市立東百舌鳥中学校)   | 中野 貴之 (堺市立美原北小学校)      |
| 漆原 良美 (堺市立登美丘南小学校)   | 似内 達吉 (大阪市立東淀中学校)      |
| 遠藤夕紀子 (東近江市立能登川東小学校) | 服部 真也 (奈良女子大学附属小学校)    |
| 狩谷 潤也 (大阪大谷大学)       | 服部 唯 (堺市立日置荘小学校)       |
| 小林 絢子 (堺市立鳳小学校)      | ピオルコフスキー潤 (枚方市立東香里小学校) |
| 酒井 克将 (堺市立東深井小学校)    | 古谷 和歳 (岸和田市立天神山小学校)    |
| 坂口 智章 (堺市立日置荘小学校)    | 宮地さおり (高槻市立第一中学校)      |
| 城野 知佐 (松原市立松原南小学校)   | 森岡 輝次 (大阪教育大学附属平野中学校)  |
| 田窪 真樹 (大阪市立天王寺中学校)   | 吉本 侑司 (堺市立宮園小学校)       |
| 田中 伸 (四條畷市立四條畷南小学校)  | (順不同)                  |

## 会場案内



### 【電車でお越しの場合】

- ・京阪、大阪メトロ谷町線、天満橋駅 1番出口から東へ 350m
- ・JR 東西線大阪城北詰駅 2号出入口から西へ 550m
- ・シティバス(旧大阪市営バス)京阪東口からすぐ

### 【お車でお越しの場合】

- ・阪神高速東大阪線「法円坂」出口より約 5分
- ・提携駐車場(有料)有り 約 90台 先着順となります



### ■会場

## ドーンセンター

大阪府立男女共同参画・青少年センター

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1丁目3番49号

TEL: 06-6910-8500 FAX: 06-6910-8775

